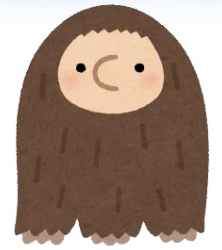




コロナ危機と時間学



～新型コロナウイルス感染症と私たちの過去・現在・未来～

これはなに？

時間学研究所が主催する学内プロジェクト第2弾です。新型コロナウイルス感染症の諸問題に対して、時間学研究所をハブとして学内の様々な研究者が集まり、研究交流を行います。新型コロナウイルス感染症の諸問題に対して、山口大学だからこその時間をキーワードとしたユニークな学術的貢献を目指します。

だれが参加できる？

山口大学に所属する研究者であれば、だれでも参加できます。新型コロナウイルスに関連する研究課題を自分で設定し、このプロジェクトに参加してください。一人で行う研究でも複数人のグループでもOKです。

目的と目標

分野や学部を問わず、様々な分野の研究者が集い交流することで新型コロナウイルス感染症の諸問題に山口大学として取り組みます。新型コロナウイルス感染症に関する諸問題の何がわかって何がわからないのか、現状を理解するだけでなく、コロナ禍以前を改めて振り返り、そしてコロナ禍以降を見据え、新型コロナウイルス感染症が存在する世界で今後私たちはどのように生きればよいのかを提言することを目指します。

「過去・現在・未来」がキーワードです。1年間の研究を行い、参加者間で交流し、2023年11月に研究成果をまとめて公表することを目標とします。

参加のメリットは？

希望される方には研究費の配分を行います。分野間の学術的交流ができる貴重な機会となります。分野間交流を通じた議論、そこで得られた知見や意見を自身の研究に還元することで研究の促進や新しい展開が期待されます。また、他部署の研究者と知り合うことができ、新しいネットワークの構築ができます。

応募方法

研究課題と必要事項を研究提案書に記入し、メール添付で申込窓口に送付してください。応募締め切り後に審査を行い、約1週間後に審査結果を通知します。

申込窓口
&
お問合せ

山口大学時間学研究所事務室
Mail sh076@yamaguchi-u.ac.jp
TEL 083-933-5848

応募締め切り 2022年9月2日(金)

詳細な実施要項や研究提案書は時間学研究所ホームページに掲載しています

